

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03010010

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	固定資産台帳経年変化補正更新委託事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	土地・家屋データ異動件数		#N/A	
事業目標	土地・家屋異動全件処理	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	無	関係例規・法令名	有 地方税法第364条第3項	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○土地及び家屋異動データの入力・編集 《土地》 ・当該年分の異動(所有権移転、分合筆、 地目変更、地積更正等) 《家屋》 ・当該年分の異動(所有権移転、新增築、 滅失等)	・土地異動修正編集、図面作成 ・家屋異動修正編集、図面作成	・土地異動修正編集、図面作成 ・家屋異動修正編集、図面作成	・土地異動修正編集、図面作成 ・家屋異動修正編集、図面作成	・土地異動修正編集、図面作成 ・家屋異動修正編集、図面作成	・土地異動修正編集、図面作成 ・家屋異動修正編集、図面作成	
	事業費(千円)	7,000	1,400	1,400	1,400	1,400	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	7,000	1,400	1,400	1,400	1,400		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,146	1,134	1,296	1,134	1,232	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	6,146	1,134	1,296	1,134	1,232		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数～530件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数～52件 ◆土地・家屋異動実施率～100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数～492件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数～82件 ◆土地・家屋異動実施率～100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数～480件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数～90件 ◆土地・家屋異動実施率～100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数～480件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数～100件 ◆土地・家屋異動実施率～100%	(実施内容等) 土地異動修正編集・図面作成 異動件数～499件 家屋異動修正編集・図面作成 異動・過年修正件数～100件 ◆土地・家屋異動実施率～100%	
	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 土地・家屋異動全件処理	年度達成率 81%	年度達成率 93%	年度達成率 81%	年度達成率 88%	年度達成率 96%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度目標値 土地・家屋異動全件処理	年度達成率 16%	年度達成率 35%	年度達成率 51%	年度達成率 69%	年度達成率 88%
	備考欄						

事業名	固定資産台帳経年変化補正更新委託事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	課税係長	川口 敦史

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町内に所在する固定資産(土地・家屋)の所有者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	土地・家屋データ異動件数	
【抱える課題やニーズは】	土地・家屋情報の正確な把握、所有者に対する適正な課税	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	土地・家屋の情報を画像データとマッチングして管理するとともに、異動情報によるデータ更新を行い最新の状態を維持することで、正確な課税客体を把握する。	① 土地異動件数	目標年度	平成29年度
			目標値	499件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	課税客体データを正確かつ効率的に管理し、固定資産税の適正な課税を維持する。	② 家屋異動件数	実績値	499件
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	土地・家屋のデータ更新	土地・家屋における年間の異動情報(登記済通知書など)を管理用コンピュータに入力し、地番図・家屋図データの更新を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	毎年変化する土地・家屋の適正な把握・管理において必要であり、この事業を実施しない場合、課税誤りや固定資産税課税明細書への不正確な表示の発生など、適正な課税に支障を来すため、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	年間の異動情報を100%反映させることで、土地・家屋の正確な把握及び適正な課税に有効であった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	専門業者に委託することで、正確かつ効率的に作業が実施された。また、コンピュータによる図面管理は、課税客体の検索や資料出力等がストレスなく行えるため、職員の実務面において作業の軽減が図られ、時間短縮にも大きな効果を得ている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	土地・家屋の異動について全件更新を行うことにより、固定資産税が適正に課税されていることから、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
土地・家屋の異動は常に生じるため、これらを正確かつ効率的に管理するため、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
各年で異動件数に増減は生じるが、適正な課税を維持するためには全件処理が必要不可欠であることから、現状のまま継続して事業を進めて行く。		

- ※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03010030

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	4 財政の安定化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	エルタックス(地方税ポータルシステム)推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	1 総務課	
事業指標	課税事務における電子化の推進		#N/A	
事業目標	エルタックス審査システムの運用	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 地方税法	
住民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	○エルタックス審査システムの運用 ・住民税金特徴ASPサービス ・国税連携ASPサービス ・電子申告ASPサービス (法人町民税、給与支払報告書、償却資産)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)
	○エルタックス運営経費の負担 ・エルタックスの運営主体である一般社団法人 地方税電子化協議会への負担金	・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)
計 画 事 業 費	事業費(千円)	5,364	1,052	1,078	1,078	1,078
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	5,364	1,052	1,078	1,078	1,078	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,149	1,019	1,054	1,038	996
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	5,149	1,019	1,054	1,038	996	
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム運用
	【評価・実績】					
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 審査システムの運用	年度目標値 審査システムの運用	年度目標値 審査システムの運用	年度目標値 審査システムの運用	年度目標値 審査システムの運用
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 97%	年度達成率 98%	年度達成率 96%	年度達成率 92%	年度達成率 97%
	全体達成率 19%	全体達成率 39%	全体達成率 58%	全体達成率 77%	全体達成率 96%	
	備考欄					

事業名	エルタックス(地方税ポータルシステム)推進事業	評価者	管理職	職氏名	税財管理課長	中村 文隆
		評価者	作成者	職氏名	課税係長	川口 敦史

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町における納税義務者、申告義務者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①年金特別徴収、確定申告データ送受信数 ②電子申告利用件数(受付業務開始⇒H24.11.26～)
【抱える課題やニーズは】	・税制改正に基づく対応(年金特別徴収、国税データ連携の制度化) ・納税者の町税申告における利便性向上 ・町税における課税事務の効率化	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度 目標値 実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	電子情報技術を活用することで、納税者の町税申告における負担軽減を図るとともに、町税の課税事務を円滑に実施する。	①【年金特別徴収データ】 ⇒1437件 【確定申告データ】 ⇒1782件	平成29年度 3219件 3219件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	・町税申告における納税者の利便性向上 ・町税の課税事務における正確性を確保 ・効果的、効率的な行政運営	②【電子申告利用件数】 ・法人町民税 ⇒130件 ・給与、年金支払報告書 ⇒204件(969人分) ・償却資産申告 ⇒188件	100.0 % 100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①システムの運用(年金特徴、国税連携)	民間ASP業者を介し、エルタックス審査システム(住民税年金特別徴収業務、確定申告データ受信業務)の運用を図った。	
	②システムの運用(電子申告)	民間ASP業者を介し、エルタックス審査システム(町税の電子申告受付業務)の運用を図った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	税制改正による個人住民税の年金特別徴収実施、国税における確定申告データの伝送化、給与支払報告書の電子的提出義務化(H26.1～)により、本システムの運用が必須である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	本システムの運用により、年金特別徴収の適正な実施、国税とのデータ連携が有効に機能し、個人住民税における課税事務の効率化が図られている。また、町税の電子申告受付開始により、納税者の利便性向上が図られている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	本システムの運用にあたって、民間のASP業者を利用することにより、事業費の抑制が図られている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	制度改正に伴う事業であり、新たに受益者に負担を求めるべきものではないことから、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
納税者の利便性が向上し、町税の課税事務における正確性の確保、効率的な実施が図られていることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
納税者の利便性向上や税務行政の効率化を維持するため、本システムを継続運用して行く。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03020010

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A	
単位施策	4 財政の安定化	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	町税等収納率向上対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	収納率の向上		#N/A	
事業目標	収納率90%以上の維持、長期滞納件数の減少	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 地方税法、国税徴収法、国税通則法、雄武町税賦課徴収条例、雄武町町税等の滞納者に対する特別措置に関する条例	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	わかりやすい税制や納税しやすい環境づくりのための各種事業、滞納処分の厳格な運用等、収納率向上に向けた施策の実施及び調査・研究。	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ・各種施策の調査・研究 (コンビニ収納の実施、インターネット公売、収納対策委員会の設置等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ・各種施策の調査・研究 (コンビニ収納の実施、インターネット公売、収納対策委員会の設置等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ・各種施策の調査・研究 (コンビニ収納の実施、インターネット公売、収納対策委員会の設置等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ・各種施策の調査・研究 (コンビニ収納の実施、インターネット公売、収納対策委員会の設置等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ・各種施策の調査・研究 (コンビニ収納の実施、インターネット公売、収納対策委員会の設置等) 	
	計画事業費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	道支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・口座振替の推進 ・特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・口座振替の推進 ・住民税給与特徴対象者の拡大 ・滞納者に対する行政サービスの制限強化 ・滞納処分の強化 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	収納率90%以上の維持	収納率90%以上の維持	収納率90%以上の維持	収納率90%以上の維持	収納率90%以上の維持
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		備考欄					

事業名	町税等収納率向上対策事業	評価者 管理職 職氏名		
		評価者 作成者 職氏名		

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町税の納税者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①収納率(向上) ②長期滞納件数(減少)
【抱える課題やニーズは】	町財政の安定化と納税における公平性を確保するため、町税の収納率向上を目的とした各種取り組みが必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	・町税の収納率向上 ・町税における長期(年度繰越)滞納件数の減少 ・町税における滞納繰越額の減少	① 収納率 (収納済額/調定額) ※全税目(国保税を含む)	目標年度 平成29年度 目標値 90% 実績値 99.56% 達成度 110.6%
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町税の収納率向上等により町の自主財源を確保し、町財政の安定化を図る。	② 長期滞納の減少件数 (滞納繰越分) ※全税目(国保税を含む)	目標年度 平成29年度 目標値 25件減 実績値 37件減 達成度 148.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	納税催告の実施徹底、自主的納付の促進	法に基づく督促状の発付後も納付に応じない納税義務者に対し、随時催告書等の送付を実施した。また、文書催告のほか電話及び訪問催告を実施し、滞納者との納税折衝の機会を増やすことで、滞納処分に至る前の自主的納付を促した。	
	滞納処分の強化	催告や納税相談に応じない悪質な滞納者に対して、財産(預貯金・給与・国税還付金)の差押えを執行した。	
	納税しやすい環境づくりの調査・検討	納税者への納付に対する利便性向上のため、クレジット納付について調査・検討を行ったところ、既存システムを改修せず、安価で導入可能であったことから、4税目(町道民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)について、平成31年度課税分から実施することとした。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	町財政の安定化と納税における公平性を確保するため、収納率向上対策は必須であり、自主財源確保のため地方税法に基づき地方公共団体が主体的に実施すべき事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	収納率の向上(現年度分)、長期滞納件数の減少、滞納繰越額の減少において、それぞれに設定した目標を達成した。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	事業費を計上せずに実施(ゼロ予算事業)している。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町税の納税者を対象としており、特定の受益者はいないことから、公平と判断する。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
納税催告等の実施により自主納付する納税者が増え、収納率の向上につながっている。また、滞納処分の実行により長期滞納者数が着実に減少していることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町税の収納率向上に向けた各種取組を継続して実施する。また、納税しやすい環境の整備としてクレジット納付の導入準備を行うとともに、引き続き他施策についても調査・研究を行う。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030001

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	国営事業促進施設整備事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	3 税財管理課		
事業主体	雄武町		関係課	9 産業振興課		
事業指標	施設改修工事			#N/A		
事業目標	施設改修工事1件		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働	無		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	旧雄武農業開発事業所宿舍改修工事					旧雄武農業開発事業所宿舍改修工事
	事業費(千円)	46,300	0	0	0	46,300
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	46,300				46,300
	その他	0				
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	36,700				36,700
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称 市町村振興協会貸付金	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
						旧雄武農業開発事業所宿舍改修工事 48,946千円
						※事務事業評価結果 A-終了
						施設改修工事1件
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	0%	0%	0%	106%
		全体達成率	0%	0%	0%	106%
		事業進捗状況				

事業名	国営事業促進施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設改修工事								
【抱える課題やニーズは】	町有施設の老朽化、不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良好な町有施設の整備・確保	① 改修工事件数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1件	実績値	1件	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1件										
実績値	1件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	安心して生活できる住環境の整備・確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	旧雄武農業開発事業所宿舍改修工事	旧雄武農業開発事業所宿舍を改修し、開発職員用住居として確保した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町有施設の整備により、国営緊急農地再編整備事業の推進につながるものであり、必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町有施設の整備により、国営緊急農地再編整備事業に携わる職員が安心して生活できる住環境が確保されており、有効である。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町有施設の整備により、国営緊急農地再編整備事業に携わる職員が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に事業が進められ、国営事業に携わる職員が安心して生活できる住環境の確保がなされた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
予定していた事業は適切に実施され、課題であった住環境を確保することができた。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調査

様式1

No. 03030010

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	B	
単位施策	1 雄武観光の売り込み	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	見直し年度	平成28年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	施設の適切な維持管理	関係課	#N/A	
事業目標	維持等工事、指定管理料の支出、業務委託、用地取得、温泉成分分析	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働	無	関係個別計画名		

全体計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	○ホテル施設整備工事 送風機整備工事(7台) 浴室棟内改修工事(浴室、渦巻きポンプ整備工事(9台) 脱衣室等) 空調機整備工事(5基) 計装設備(シーケンサ機器) 冷却塔整備工事 取替工事 熱源水用熱交換機取替(1台) 浴槽ろ過循環用熱交換機取替工事 浄化槽機器改修工事 温泉ポンプ整備工事(2台) トイレウォッシュレット取替工事(31箇所) 温泉ポンプ整備工事(2台) 電話交換設備、客室館内 インターネット整備工事(17室) インターネット整備工事 3階廊下カーペット張替工事 高圧開閉器盤取替工事 3階～5階廊下壁クロス張替工事 車庫シート補強補修工事 客室用敷布団・マット更新 男女電気サウナ取替工事 他 外部改修工事(タイル・ステン等) ○ホテルの施設及び運営に係る指定管理料の支出	送風機整備工事(7台) 渦巻きポンプ整備工事(9台) 空調機整備工事(5基) 冷却塔整備工事 熱源水用熱交換機取替(1台) 浄化槽機器改修工事 トイレウォッシュレット取替工事(31箇所) 電話交換設備、客室館内 インターネット整備工事 高圧開閉器盤取替工事 車庫シート補強補修工事 男女電気サウナ取替工事 外部改修工事(タイル・ステン等) 浴室棟内改修工事(浴室、脱衣室等) 指定管理料の支出	計装設備(シーケンサ機器)取替工事 浴槽ろ過循環用熱交換機取替工事 温泉ポンプ整備工事(1台) 客室カーペット張替工事(17室) 3階廊下カーペット張替工事 3階～5階廊下壁クロス張替工事 食堂階段・2階廊下手摺り部改修工事 量水器更新工事	和室用敷布団・掛け布団・枕・マット更新 大型送迎バス更新 1階ラウンジ・EVホールカーペット張替工事 2階廊下・宴会場カーペット張替工事 バス旋回場用地調査測量業務委託 バス旋回場用地取得費 和室・宴会室用机・椅子購入 浄化槽改修 源泉配管内視カメラ及び高圧洗浄給湯予熱系統ポンプ等取替 客室トイレ便座設置工事	冷暖房設備(ピーマックユニット)整備工事 温泉ポンプ整備工事(1台) ろ過設備更新工事 ホテル日の出岬屋上防水改修工事 オホーツクマイ温泉成分分析 客室冷蔵庫更新 客室用空気清浄機購入	外調機用熱交換器等取替 ロビー床暖昇温ポンプ等取替 2階宴会場畳張替 1階浴室ロビー他カーペット張替 ホテル日の出岬展望コーナー サッシ廻り改修工事	
	事業費(千円)	443,248	290,558	23,420	36,913	82,497	9,860
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	125,000	42,800	19,800	2,500	50,100	9,800
実績事業費	財源内訳						
	国庫支出金	227,130	227,130				
	道支出金	0					
	地方債	94,600	17,300	18,900	2,500	46,800	9,100
関連事項	特定財源の名称 過疎債(ソフト) 財政調整基金積立金 ホテル日の出岬基金積立金 宿泊入浴施設使用料 【評価・実績】	(実施内容等) ・計画の浴室棟外改修工事外10工事 257,831千円 ・屋外照明設置工事 3,213千円 ・源泉配管内スケール除去作業 787千円 ・備品整備(活魚水槽) 2,972千円 ・指定管理料の支出 26,378千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・計装設備取替他6工事(委託) 25,775千円 ・屋上防水改修工事 6,966千円 ・運営資金貸付 20,000千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) バス更新他7業務(委託) 27,908千円 客室トイレ便座設置工事 1,739千円 用地測量・取得 3,172千円 宴会用机・椅子購入 3,935千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ろ過機更新他4業務(委託) 52,531千円 屋上防水改修工事 28,674千円 温泉成分分析 130千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 外調機用熱交換器等取替他3業務(委託) 9,112千円 客室用デスクスタンド購入 225千円 展望コーナーサッシ廻り改修工事 497千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	維持等工事13件、指定管理料の支出1件	8件	維持等工事、用地取得	維持等工事、温泉成分分析	維持等工事
	第6期計画への継続(継続無し)	年度達成率	100%	225%	100%	99%	100%
		全体達成率	66%	78%	86%	104%	106%
		備考欄					

事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	評価者	管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者	作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	塩害及び経年劣化による施設の破損等に対する施設整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	温泉施設としての適正な維持管理	① 設備改修、備品購入件数	目標年度	平成29年度
			目標値	5件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者の充実した利用環境の確保	②	実績値	6件
			達成度	120.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	改修工事	維持管理に必要な施設の改修工事を実施した。		
	備品購入	利用者のニーズに対応するため、必要な備品を購入した。		
			目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	運営・サービスの低下による利用者離れの予防と温泉施設としての適正な維持管理を図るためにも、施設整備・備品更新等は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	適正な温泉施設として維持するため、計画的に施設整備を進めており、有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	計画的な整備により修繕費及び維持費が抑制されたおり、効率的である。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

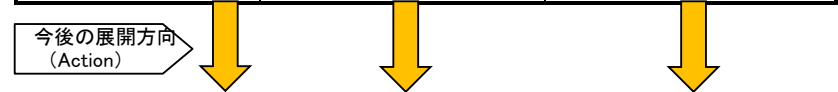
公平	判断の理由	全ての方が利用対象である施設の整備であり、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に施設整備等を進めることにより、温泉施設としての適正な維持管理がなされた。		



継続/現状維持		
多様化するニーズに対応する施設を運営するには、計画的な施設整備による維持管理が必要であり、また、滞在型観光施設としての役割も担うため、今後も効果的かつ効率的に事業を推進する必要がある。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030011

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5	観光の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	雄武観光の売り込み	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬運営支援事業		見直し年度			
事業期間	平成28年度～平成29年度		担当課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	指定管理施設の安定運営		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	指定管理施設の維持管理		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	ホテル日の出岬運営支援事業補助金				ホテル日の出岬運営支援事業補助金	ホテル日の出岬運営支援事業補助金
	事業費(千円)	29,400	0	0	0	14,700
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	14,700				14,700
一般財源	14,700				14,700	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,400	0	0	0	14,700
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	29,400				14,700	14,700
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】				ホテル日の出岬運営支援事業補助金 14,700千円	ホテル日の出岬運営支援事業補助金 14,700千円
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
					※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
					指定管理施設の維持管理	指定管理施設の維持管理
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値				
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	0%	0%	100%
		事業進捗状況				

事業名	ホテル日の出岬運営支援事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	指定管理施設の安定運営								
【抱える課題やニーズは】	町民健康増進対策としての日帰り入浴料金の据置きに伴う運営の圧迫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	入浴料金の据置き及びホテル日の出岬の安定運営	① 補助金支出額	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>14,700千円</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>14,700千円</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	14,700千円	実績値	14,700千円	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	14,700千円										
実績値	14,700千円										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	温泉資源の利用による町民福祉の向上	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営支援補助金	日帰り入浴部門に対する安定運営対策として、運営支援補助金を支出した。									

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ホテル日の出岬の安定運営を図るためにも、補助金は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	補助金の支出により、ホテル日の出岬の安定運営が図られており、有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	日帰り入浴部門に係る減収支援であり、効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	全ての方が利用対象である施設の安定運営に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
運営を圧迫していた日帰り入浴部門に対して補助金を支出することにより、施設の安定運営が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
ホテル日の出岬の安定運営を継続するためにも、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030040

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町有施設整備事業	見直し年度	平成28年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	2 財務企画課	
事業指標	住環境の整備、町有施設調査		12 教育委員会教育振興課	
事業目標	改修工事(4棟7戸)、不動産購入(2件)、町有施設調査1件、改修工事3件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	旧林務署住宅屋根改修(2棟4戸) 宮の森荘(お試し住宅及び陶芸工房)改修工事 旧林務署庁舎改修工事 旧林務署公宅等購入 宮下団地通路舗装改修工事 サンライズビレッジカーポート屋根塗装改修工事	旧林務署住宅屋根改修(2棟4戸)	宮の森荘(お試し住宅及び陶芸工房)改修工事 ・陶芸工房内部の梁の鉄骨補強(4箇所) ・屋根全面塗装 ・外装防腐処理及びコーキング補修 ・軒天板補修	旧林務署土地購入	旧林務署庁舎改修工事 旧林務署公宅等購入 宮下団地通路舗装改修工事 サンライズビレッジカーポート屋根塗装改修工事(H29年度へ繰越)	潮見町有住宅内部改修工事 ※左記前年度補正繰越事業	
	事業費(千円)	52,180	2,400	7,200	6,000	20,580	16,000
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	52,180	2,400	7,200	6,000	20,580	16,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	49,870	2,342	7,074	4,850	16,961	18,643
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	49,870	2,342	7,074	4,850	16,961	18,643	
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	町有住宅改修工事 2,342千円	宮の森荘改修工事 7,074千円	旧林務署土地購入 4,850千円	旧林務署庁舎改修工事 8,057千円 旧林務署公宅等購入 7,457千円 宮下団地通路舗装改修工事 1,447千円	サンライズビレッジカーポート屋根塗装改修工事 3,197千円 潮見町有住宅内部改修工事 15,446千円	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値 2棟4戸	1棟2戸	不動産購入1件	不動産購入1件、改修工事3件	改修工事2件	
	第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率 98%	18%	81%	82%	117%	
	全体達成率 4%	18%	27%	60%	96%		
	備考欄						

事業名	町有施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町有施設の整備
【抱える課題やニーズは】	町有施設の老朽化、不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良好な町有施設の整備・確保	①	改修工事件数
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民が安心して生活できる住環境の整備・確保		目標年度 平成29年度 目標値 2件 実績値 2件 達成度 100.0 %
		②	目標年度 平成29年度 目標値 ○○ 実績値 ○○ 達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	サライズビレッジカーポート屋根塗装改修工事	経年により損傷が激しいカーポートの屋根を改修し、居住者の安全な生活環境を確保した。	
	潮見町有住宅内部改修工事	潮見団地の一部を用途廃止して内部改修を行い、町有住宅として再活用を図った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境が確保されており、有効である。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制され、効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に事業が進められ、町民が安心して生活できる住環境の確保がなされた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
予定していた事業は適切に実施されたが、今後も本町における住環境を整備・確保するため、計画的に事業を実施する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030070

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	役場庁舎維持管理事業(ガラス清掃・床ワックス掛け)	見直し年度	平成28年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	庁舎の維持管理・美観を保つ		#N/A	
事業目標	庁舎ガラス清掃・床面ワックス掛け業務委託	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	役場庁舎維持管理事業 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス 掛け業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス 掛け業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス 掛け業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス 掛け業務委託	庁舎ガラス清掃・床ワックス 掛け業務委託
	事業費(千円)	2,640	510	510	510	600
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,640	510	510	510	600	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,572	483	497	497	598
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,572	483	497	497	598	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託 483千円	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託 497千円	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託 497千円	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託 497千円	(実施内容等) 庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託 598千円
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 業務委託	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 業務委託	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 業務委託	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 業務委託	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 業務委託
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	95%	97%	97%	97%
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	18%	37%	56%	75%
	全体達成率				100%	
	備考欄				97%	

事業名	役場庁舎維持管理事業(ガラス清掃・床ワックス掛け)	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎及び別館	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	庁舎及び別館の維持管理	
【抱える課題やニーズは】	庁舎の耐久性及び美観の後退	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	庁舎の耐久性及び美観の維持	① ガラス清掃・床ワックス掛けの実施	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	庁舎の現状を維持し、延命化を図る。		目標値	1式
			実績値	1式
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	ガラス清掃及び床ワックス掛け	ガラス清掃及び床ワックス掛けを委託業務により実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	役場庁舎及び別館の適正な維持管理を行うため、必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		事業の実施により庁舎の耐久性及び美観が保たれており、有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		庁舎清掃業務受託者に業務を発注することにより、事業費の抑制と適正な執行が行われており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		庁舎を利用する全ての人の利益につながるものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業の実施により、庁舎の耐久性と美観を維持することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
庁舎の現状を維持するためにも、今後も計画的に事業を進める必要がある。 ※30年度から経常予算に移行		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030072

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・事業期間 平成25年度～平成31年度 ・事業内容 街路灯LED化1灯用279本、2灯用6本 ・総事業費 72,610千円
基本施策	24 効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B	
単位施策	1 計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	街路灯LED化整備事業	見直し年度	平成29年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	街路灯LED化整備本数		#N/A	
事業目標	街路灯LED化1灯用185本、2灯用6本	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	街路灯LED化整備(191本) 灯具交換(130個)	街路灯LED化整備工事 新日の出町(1灯用29本) 日の出仲町(1灯用19本) 本町(1灯用6本、2灯用3本) 日の出北町(1灯用4本)	街路灯LED化整備工事 幸町(1灯用7本、2灯用3本) 末広町一区(1灯用6本) 新町(1灯用4本) 緑町(1灯用18本) 潮見町(1灯用8本) 宮下町(1灯用20本)	街路灯LED化整備工事 錦町(1灯用24本) 栄町(1灯用22本) 灯具交換(130個) ※補正繰越(H28実施)15,600千円	左記のとおり(補正繰越事業)	街路灯LED化整備工事 旭町(1灯用15本) 東浜町(1灯用3本)	
	事業費(千円)	50,010	8,430	9,080	27,100	0	5,400
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	50,010	8,430	9,080	27,100	0	5,400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	49,086	0	17,172	11,286	15,336	5,292
	財源内訳						
	国庫支出金	8,300		8,300			
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	40,786		8,872	11,286	15,336	5,292	
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等) 街路灯LED化 新日の出町24本、日の出仲町19本 日の出北町9本、本町9本 幸町10本、末広町一区6本 新町4本、緑町18本、潮見町8本 宮下町20本	(実施内容等) 街路灯LED化 錦町外 計46本	(実施内容等) 灯具交換126個 15,336千円	(実施内容等) 街路灯LED化 旭町外 計18本 5,292千円	
	【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	LED化1灯用58本、2灯用3本	LED化1灯用63本、2灯用3本	LED化1灯用46本	灯具交換130個	LED化1灯用18本	
	年度達成率	0%	189%	42%	#DIV/0!	98%	
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	34%	57%	88%	98%	
	備考欄						

事業名	街路灯LED化整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	街路灯LED化整備本数								
【抱える課題やニーズは】	電気料金の高騰及び灯具の劣化による維持費の増	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	街路灯の更新による維持費等の抑制	① LED化本数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>18本</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>18本</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	18本	実績値	18本	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	18本										
実績値	18本										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	電気料金の節減と照明設備の長寿命化	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	街路灯LED化工事	街路灯のLED化工事を行い、照明設備の長寿命化を図った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	電気料金の高騰や既存設備の老朽化に対応するため、必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	事業の実施により、照明設備の長寿命化が期待される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全町民の安全に寄与するものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業の執行により、維持費等の抑制につながり、将来を見据えた電気料金の節減が期待される。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
電気料金や設備維持費の節減及び各年度事業費の平準化を図るため、30年度以降も計画どおり事業を継続する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030073

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A		
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	役場庁舎整備事業		見直し年度	平成28年度		
事業期間	平成28年度～平成29年度		担当課	3 税財管理課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	工事件数		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	2件		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	庁舎非常用蓄電池更新工事 役場庁舎煙突外壁他改修工事			庁舎非常用蓄電池更新工事 ※補正繰越(H28実施)	左記のとおり(補正繰越事業)	役場庁舎煙突外壁他改修工事 (補正繰越事業)	
	事業費(千円)	7,300	0	0	6,100	0	1,200
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	7,300			6,100		1,200	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,172	0	0	0	5,984	1,188
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	7,172				5,984	1,188	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】				庁舎非常用蓄電池更新工事 5,984千円	役場庁舎煙突外壁他改修工事 1,188千円	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				1件	1件
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	99%
	全体達成率	0%	0%	0%	82%	98%	
	備考欄						

事業名	役場庁舎整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	役場庁舎維持管理	
【抱える課題やニーズは】	経年劣化による施設の損傷等に対する施設整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	役場庁舎としての適正な維持管理	① 工事件数	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	来庁者の充実した利用環境の確保		目標値	1件
			実績値	1件
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	改修工事	煙突外壁他改修工事を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	行政サービス提供の拠点である役場庁舎としての適正な維持管理を図るためにも、施設整備は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	役場庁舎として適正に維持するため、計画的に施設整備を進めており、有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	見積合せの執行により事業費が抑制されており、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	雄武町全体の利益につながるものであり、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に施設整備等を進めることにより、役場庁舎としての適正な維持管理がなされた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
役場庁舎として適正に維持するため、今後も計画的に事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030080

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B		
単位施策	3	地方分権型行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	車両運行業務民間委託事業		見直し年度	平成28年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	3 税財管理課		
事業主体	雄武町		関係課	12 教育委員会教育振興課		
事業指標	バス・給食配送車管理運行業務			5 保健福祉課		
事業目標	スクールバス4台・生涯学習バス、福祉バス及び給食配送車2台の一括運行管理業務		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	無		関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○バス・給食配送等の運行管理業務 スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス及び福祉バス等の運行管理の一括民間委託	スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス及び福祉バス等の運行管理の一括民間委託	スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス及び福祉バス等の運行管理の一括民間委託	スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス及び福祉バス等の運行管理の一括民間委託	スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス及び福祉バス等の運行管理の一括民間委託	スクールバス4台、給食配送車2台、生涯学習バス及び福祉バス等の運行管理の一括民間委託	
	事業費(千円)	153,489	26,565	27,324	32,400	33,450	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	153,489	26,565	27,324	32,400	33,450		
一般財源	153,489	26,565	27,324	32,400	33,450		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	157,123	29,531	29,981	31,202	32,332	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	157,123	29,531	29,981	31,202	32,332		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 27,779千円 車両整備 1,752千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 28,780千円 車両整備 1,201千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 30,975千円 車両整備 227千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 30,694千円 車両整備 1,638千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託 委託料 32,886千円 車両整備 1,191千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 委託台数8台	111%	110%	96%	97%	101%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	19%	39%	59%	80%	102%
		備考欄					

事業名	車両運行業務民間委託事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内児童、生徒、一般町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	業務車両委託台数		
【抱える課題やニーズは】	円滑な運行及び輸送業務の確保		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行		① 業務車両委託台数	目標年度	平成29年度
				目標値	8台
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行		②	実績値	8台
		達成度		100.0%	
		目標年度		平成29年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	業務委託	スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス及び生涯学習バスの計8台の車両運行業務の一括民間委託	目標値	〇〇	
			実績値	〇〇	
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	円滑な運行及び輸送業務を実施するため、民間委託により業務を行う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	民間委託を行うことにより、柔軟かつ円滑な運行業務等を行うことができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	民間委託により人件費を抑制することができ、コストに見合った効果を得ることができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町民全般に寄与する業務であり、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
業務の民間委託により、柔軟かつ円滑な運行と経費節減が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
車両運行・輸送業務の円滑化と効果的な成果を得るためにも、今後も計画どおり事業を継続する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止